

ことばの教室だより

あきる野市立前田小学校
ことばの教室
Tel 042(532)3681(直通)
令和8年6月12日

ことばの教室の通級が開始して、2か月程経ちました。担当が変更になった児童も、徐々に緊張がほぐれ、様々な話題で自分から話したり、ことばの学習に意欲的に取り組んだりする様子が見られるようになりました。通級にあたり、送迎や宿題の見守りなど、ことばの教室への御理解・御協力をいただきありがとうございます。保護者の方や学級担任の先生方と連携を図りながら、児童一人一人に応じた指導をこれからも行っていきます。

6月10日 第1回吃音グループ学習の様子

わたしたちの島を守れ！



グループに分かれて島に見立てた新聞紙に乗り、じゃんけんで負けたグループの新聞紙を半分に折っていきました。新聞紙の島に乗ってられるよう、グループで工夫していました。

スケールバーに座り、質問に対して好き嫌いの程度を表現しました。「冬の寒い日は好き?」「音読は好き?」「吃音は好き?」などという質問で、自分の考えを友達に表現することができました。

すき?きらい?



- ☆ この他に「動物仲間探し」、「おたまりレー」のゲームを行い、みんなで楽しむことができました。
- ☆ 保護者会を同時並行で実施しました。
自己紹介や保護者同士で聞いてみたいことを質問し合い、意見交換をしました。
- ☆ 次回は11月11日(水)に開催予定です。

在籍学級担任面談を行っています

6月中に、各担当者が担任の先生を訪問、またはオンライン会議にて、通級児童の学級での様子を伺うとともに、「ことばの教室」での様子や、配慮事項をお伝えするなど、情報交換をさせていただいております。6月19日(金)までを予定しています。どうぞよろしくお願いいたします。

きつおん 「吃音」について

吃音とは？

言葉がどもることを吃音といい、次のような話し方が見られます。

「あ、あ、あのね」…繰り返し（連発）

「あーのね」…引き伸ばし（伸発）

「……っあのね」…ブロック（難発）

吃音が起きる割合

2～4歳児の 5%に吃音が発症します。半数以上の子は小学校入学前に症状がなくなっていきますが、成人の 100 人に 1 人（1%）の割合で吃音が残ります。

吃音の原因

本人のもつ生まれつきの要因が大きいことが分かっています。ストレスや家庭環境、本人の性格（緊張しやすい、気が弱い等）によるものではありません。

吃音のある子供への関わり方

家庭や学級で子供の話を聞くときは

- ・お子さんの話し方ではなく、話している内容に耳を傾け、話す意欲を大事にしましょう。
 - ・お子さんの話を最後まで聞くようにしましょう。
 - ・言いたいこと、先取りや、以下のような話し方への助言をしたり、言い直しをさせたりするのはやめましょう。
- ×「落ち着いて。ゆっくり話してごらん」※緊張しているから吃音が出るわけではありません。
- ×「そんなにどもってないから大丈夫だよ。」
- ※吃音が悪いことというメッセージになることがあります。

症状の波に一喜一憂しない

- ・吃音の症状の出方には、週～月単位での波があります。
- ・症状がほとんど出ていない時期の後に、強く出ることもあります。
- ・周りの大人は、症状の波に一喜一憂しないようにしましょう。

ことばの教室には、吃音を主訴に通級している児童がいらっしゃいます。周囲が吃音について理解を深め、適切な関わりを行うことは、吃音のある児童にとって大きな支えとなります。周囲への理解を広げながら、誰もががのびのびと安心して話せる環境づくりを目指していけたらと思います。